



医療経営士ニュース | これからの医療現場を担う経営人材のための機関紙

# MMS NEWS

2016 **12** 月号  
Vol.70  
毎月1回発行(通巻70号)  
編集:日本医療企画

一般社団法人日本医療経営実践協会 〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町4-14 神田平成ビル7F TEL.03-5296-1933 <http://www.JMMPA.jp/>

## 第5回「全国医療経営士実践研究大会」名古屋大会 延べ400人が参加し、盛況裡に閉幕

# 医療経営士の挑戦と創造が 地域の新しい未来を切り拓く

一般社団法人日本医療経営実践協会は10月29日(土)、30日(日)の2日間、名古屋市中村区にあるウインクあいち(愛知県産業労働センター)において、第5回「全国医療経営士実践研究大会」名古屋大会を開催した。大会テーマは「医療経営士が生み出す地域イノベーション——新たな医療経営が描く日本の未来像」。16人の医療経営士が演題発表に挑戦し、全国各地から延べ400人の医療経営士や協会関係者らが参加した。

### 地域の全体最適に向けて 医療経営士の存在が不可欠



基調講演の西村訓弘氏 特別講演の米盛公治氏 井手宏大会運営委員長

最初に、小林利彦代表理事代行が開会の挨拶を行い、「今回のメインテーマは、『地域イノベーション』。医療経営士には自分の病院だけではなく、広い視野を持って地域をよりよくするために取り組んでもらいたい。どうイノベーションを生み出し、実践していくのか、大会を通じて考えてほしい」と呼びかけた。次に、大会運営委員長の井手宏東海支部支部長が登壇。「地域医療構想が各都道府県で策定され、病院最適から地域の全体最適を考

える必要が出てきている。その議論には医療経営士の存在が不可欠。演題発表を通じて議論し、切磋琢磨してほしい」と開会のことを述べた。

続いて行われた特別講演「新たな医療経営が描く日本の未来展望——医療機関が行うべき『挑戦』と『創造』とは!」では、社会医療法人緑泉会理事長・米盛病院院長の米盛公治氏が、鹿児島市で実践しているイノベーションとして、「医

療圏広域化」に向けた取り組みを披露した。同法人では、①市内・県内の医療圏広域化、②国を超えた医療圏広域化——の2つを実践している。米盛氏は「人口減少の進む地方都市では、病院経営が厳しくなると言われているが、周辺の人口が減るなら医療圏を広げればよい。当院では、より広域から患者が来院できる仕組みや機能を構築している」と人口減少時代の戦略について述べた。

### 今ある基盤を結合させ 新たな価値を生み出そう!

基調講演では、三重大学副学長で同大学地域戦略センター長の西村訓弘氏が「地域イノベーションとは何か——医療提供体制の再構築から考察する地域医療の未来像」をテーマに登壇。西村氏は地域イノベーションについて、「地域内

にすでにある基盤の新結合によって、新たな価値を生み出すという考え方が不可欠であり、地方こそ発想や価値観の転換が求められる」と指摘し、地方創生が目指すべき方向性と医療機関を核とする地域イノベーションの事例を紹介した。

小林利彦代表理事代行の開会の挨拶で大会の幕が上がる



撮影=鈴木健司

## 第6回 全国医療経営士実践研究大会 広島大会 開催決定!!

**2017年 11月18日(土) 11月19日(日)**

求む! 医療経営士による演題発表  
医療経営士による日ごろの実践の成果を発表する場です。  
多くの医療経営士のチャレンジをお待ちしています。

会場 **広島県医師会館ホール**  
広島市東区二葉の里三丁目2番3号 [JR広島駅・新幹線口から徒歩約5分]

大会運営委員長 **梶原四郎**  
医療法人社団清風会理事長 / 日本医療経営実践協会中国支部支部長

【事務局】 一般社団法人 日本医療経営実践協会 ☎03-5296-1933 <http://www.jmmpa.jp/seminar/zenkokuikai/>



## 活躍の場を広げる 6人の医療経営士が受賞

医療経営士による演題発表では、16人の医療経営士が挑戦した。発表にあたり、審査委員長を務めた東京医科歯科大学大学院教授の川淵孝一氏は、「今大会では、すばらしい発表に対して人数を制限することなく審査委員奨励賞を授与することになっている。ぜひ、日頃の成果を存分に発揮してほしい」とエールを送った。

演題発表者は自身の所属先により、「医療機関・医療従事者部門」と「医療機関外従事者部門」に分かれ、2日間にわたってハイレベルなプレゼンテーションを展開。会場からは熱心な質問が相次いだ。

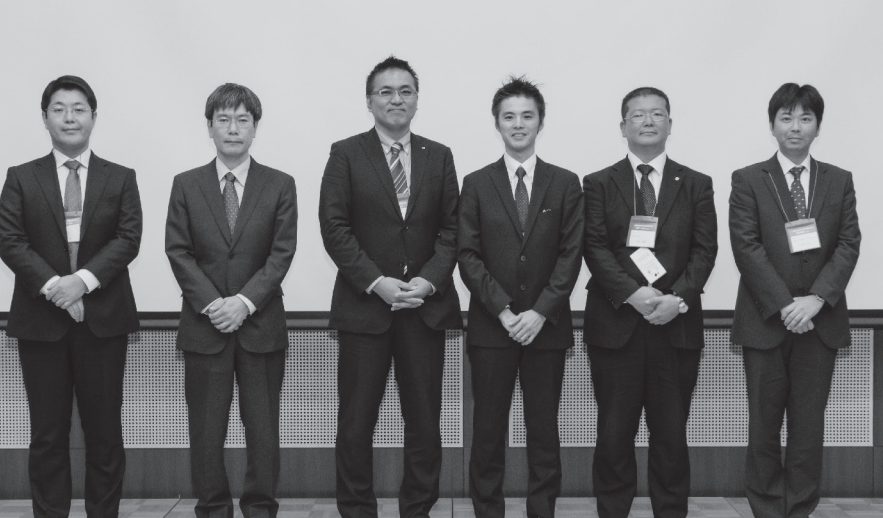
審査の結果、審査委員奨励賞には、千葉県済生会習志野病院事務次長兼経営企画室主任の兵藤敏美氏、白石山石川医療企業団公立松任石川中央病院管理部経営管理課主任の山本誠氏、仲田町内会広報担当役員、株式会社ベネストビジネスアドミングループマネージャーの益田敏治氏、前・社会福祉法人北海道社会事業協会小樽病院診療部長の草野真暢氏、真生会富山病院経営企画室兼医事課副主任の中神勇輝氏、医療法人社団清風会五日市記念病院事務部庶務課リーダーの水野利弘氏

### 現状を変えていく勇氣 一歩踏み出す力が必要

川中央病院管理部経営管理課主任の山本誠氏、仲田町内会広報担当役員で株式会社ベネストビジネスアドミングループマネージャーの益田敏治氏が選出された。また、東海支部長賞には前・社会福祉法人北海道社会事業協会小樽病院診療部長の草野真暢氏が選出された。

このほか大会1日目終了後には懇親会が開催され、おもてなし武将隊によるパフォーマンスが会場を盛り上げた。2日目には、株式会社明治によるランチオンセミナー「ヨーグルトと健康」、特別対談「地域医療の再生と構造的課題——コミュニティの創造を支える新しい在宅医療」が行われた。

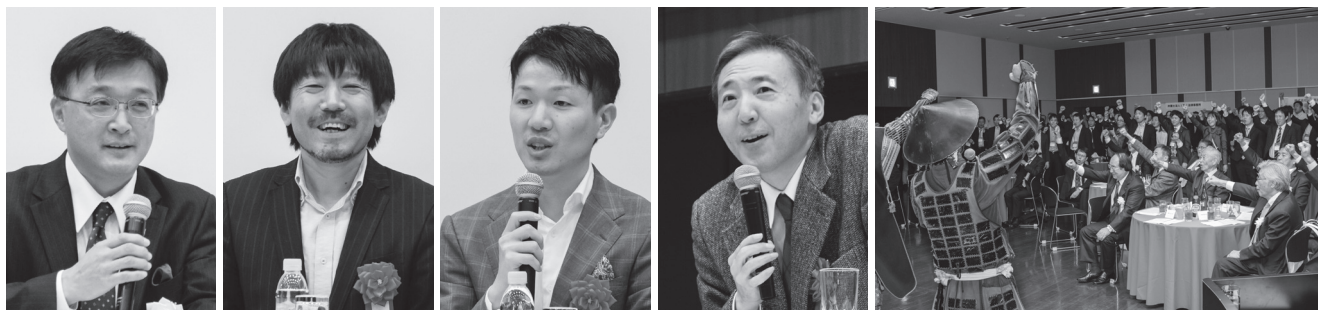
特別対談では、元三重県松阪市市長で、医療法人SIRIUSの山本光茂氏と、ケアプロ株式会社代表取締役社長で看護師・保健師の川添高志氏が登壇。藤田保健衛生大学医療科学部医療経営情報学医学科教授の米本倉基氏がモデレーターを務め、「どうすれば在宅医療の現場に若手が参入するのか」「在宅医療の分野でイノベーションを起こすために必要なことは何か」などについて議論した。在宅医療・看護の大規模・グループ化が避け



左から山本誠氏、草野真暢氏、兵藤敏美氏、中神勇輝氏、益田敏治氏、水野利弘氏

賞	氏名	所属	演題タイトル
審査委員奨励賞	兵藤敏美氏	千葉県済生会習志野病院事務次長兼経営企画室長	データを活用した地域のニーズに合わせた病院改革
	山本 誠氏	白石山石川医療企業団公立松任石川中央病院管理部経営管理課主任	医療経営士を中心とした組織横断チームによる多視点分析と改善活動の検証
	益田敏治氏	仲田町内会広報担当役員、株式会社ベネストビジネスアドミングループマネージャー	地域住民としての医療経営士
東海支部長賞	草野真暢氏	前・社会福祉法人北海道社会事業協会小樽病院診療部長	DPC対象病院における採用医薬品適正化の取り組み
インパクト賞	中神勇輝氏	真生会富山病院経営企画室兼医事課副主任	劇的経営改善ビフォー・アフター～情報の見える化～
ユニーク賞	水野利弘氏	医療法人社団清風会五日市記念病院事務部庶務課リーダー	ロボット技術を活用した患者サービス向上を目指して

特別対談では、元三重県松阪市市長で、医療法人SIRIUSの山本光茂氏と、ケアプロ株式会社代表取締役社長で看護師・保健師の川添高志氏が登壇。藤田保健衛生大学医療科学部医療経営情報学医学科教授の米本倉基氏がモデレーターを務め、「どうすれば在宅医療の現場に若手が参入するのか」「在宅医療の分野でイノベーションを起こすために必要なことは何か」などについて議論した。在宅医療・看護の大規模・グループ化が避け



左から特別対談に登壇した米本倉基氏、山中光茂氏、川添高志氏

川淵孝一審査委員長

懇親会を盛り上げたおもてなし武将隊

## 好評発売中！ 医療・介護関係者 必携の書

医療経営士サブテキスト

### 医療経営データ集2016

数値で理解する  
医療・介護業界の最新動向

#### 主な内容

【巻頭特集①】2016年版医療経営データの全体像

- 1 医療経営におけるデータ分析のポイント① 経営動向の概略
- 2 医療経営におけるデータ分析のポイント② 病院機能別の経営動向
- 3 関連産業動向 4 特別インタビュー 医療経営現場からの視点

【巻頭特集②】診療報酬改定と地域医療の課題

- 1 平成28年度診療報酬改定 2 地域医療構想(ビジョン)、地域医療連携推進法人制度 3 医薬品市場の最新動向

【第1章】医療を取り巻く環境の現状分析

【第2章】病院経営に関する現状分析

【第3章】病院経営に関するトピックス

医療経営の  
羅針盤となる  
統計データが満載！  
巻頭特集は  
豪華2本立て！！



●監修・編集：日本政策投資銀行/日本経済研究所  
●A4判・並製/312ページ/本文2色

●定価：3,024円(税込)→ 会員価格：2,419円(税込)

特別寄稿 病院見学会ツアー体験記

# 許可病床数日本一の巨大施設で体感した これからの病院が進むべき方向性



第5回名古屋大会のオブショナルツアーとして、大会前日の10月28日(金)に開催された病院見学会。参加者は単一の病院としては国内最多の病床数を誇る藤田保健衛生大学病院を見学しました。その模様を医療経営士がレポートします。

**鷹取敏昭氏**

人事マネジメント研究所進創アシスト代表  
医療経営士2級、社会保険労務士



許可病床数日本一の巨大病院を訪れること自体、なかなか経験できることではありません。興味津々で敷地に足を踏み入れ、いくつかある巨大な建物のうち外来棟に入ったとたん、端から端まで見通せないほどの長い廊下が目の前に現れ、唾然としてしまいました。

藤田保健衛生大学の米本倉基教授、同大学病院医療事務部入院医事課の坂田裕介係長による大学や病院についての説明や地理的な特徴を踏まえた戦略を聞いて、とても参考になりました。続く施設見学では、手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」のあるトレーニングセンターや1泊7万円の特別室など、普段は立ち入ることのできない施設・設備を拝見し、これからの病院が進むべき方向性を感じることができました。

私が今回のツアーで一番の狙いとしていたことは、施設見学の合間に米本先生や坂田係長に

個別に話を聞くことです。参加者全員が集まっているときは、時間の制約等で質問がしにくいので、タイミングを見計らって質問をしました。

質問の1つとして、同大学の医学生や看護学生が他の医療機関に流出していく割合はどの程度かと尋ねてみたところ、ほとんどが同病院に就職し、外部流出は極めて少ないとのこと、驚きました。医師臨床研修制度で自由に研修先を選べるようになっていた昨今、魅力ある病院づくりが功を奏しているわけです(看護師も同様でしょう)。その他、私も病院勤務経験者として、病院の組織運営の難しさは理解していますが、巨大病院では、想像以上の難しさがあることを聞くことができました。

病院見学会は表立って聞けないようなことを直接質問できます。皆さんも機会があれば参加をおすすめします。

梶原四郎中国支部支部長が閉会挨拶。「これまでの大会では、今の医療制度のなかでどうするべきかという演題が多かった。しかし、今の医療制度はさまざま問題を抱えている。決められたものに合わせていくこ

とも大切だが、変えていく勇氣、一歩踏み出す力も必要。来年はそうした勇氣を持った医療経営士の発表を楽しみにしている。広島でお会いしましょう」と呼びかけ、大会は盛況裡に幕を閉じた。



梶原四郎中国支部支部長



## 医療経営士にぜひ読んでほしいおすすめの本

『医学部教育イノベーション 医療が変わる 世界が変わる』

# 医療に押し寄せる国際化の波 医学部教育のあり方を提言！

少子超高齢社会に求められる医師像とその教育のあり方を問う書籍

『医学部教育イノベーション』(日本医療企画刊)が好評発売中だ。

第4章「医学部教育改革——私の提言」では、本協会の加納繁照理事、濃沼信夫理事も寄稿。すべての医療関係者におすすめの内容になっている。

- 編著 医学教育を考える編集委員会(委員長:水巻中正 [国際医療福祉大学大学院教授])
- 体裁 A5判・並製・244頁
- 定価 本体2,000円+税
- 発行 日本医療企画

## 医学部教育イノベーション

医療が変わる 世界が変わる

『医学部教育を考える編集委員会  
委員長 水巻中正(国際医療福祉大学大学院教授)』

### “黒船”が再び来航!

日本の医学教育水準は、国際基準に達していないのか?  
2010年、臨床研修を認証するアメリカの機関「RCFMC」は、「2023年以降、日本人医師がアメリカの病院で医療行為を行う場合、国際基準で認定を受けた医学部の出身者に限ると通告してきた。」と、2019年2023年以降、日本の医学部教育は、今、大転換期を迎えている。医学教育に“黒船”の来航に2017年、日本の医学部教育は、今、大転換期を迎えている。医学教育に“黒船”の来航に2017年、日本の医学部教育は、今、大転換期を迎えている。医学教育に“黒船”の来航に2017年、日本の医学部教育は、今、大転換期を迎えている。

### 日本の医学部教育は国際基準に達していない?

なぜ大学医学部が37年ぶりに相次いで新設されたのか、群馬大学をはじめ医学部附属病院はなぜ医療過誤を繰り返すのか、医学部の偏差値大変動の裏には何があるのか、そもそも医学部ではどのような教育が行われているのか、少子超高齢社会を迎えて今後どのような医師が求められるようになるのか、その教育のあり方はどうなるのか……。こうした日本の医学部に対する疑問と課題、その解決に向けて進められる教育改革の現在進行形を現役の医学部教授をはじめ指導医、病院団体代表、病院経営者、医学ジャーナリストたちが解き明かしているのが本書である。

大学医学部はこれまでも今も大学受験における最難関であり、そこには偏差値の高い優秀な学生たちが集まっている。この最高峰と言える教育機関で育てられた医師を中心として行われた医療は、世界でも有数であるはず。2010年、そんなイメージを覆すようなことが起きた。23年からは国際基準で教育を受けた医学部出身者のみに米国での医療行為を認めるという通

告である。条件を満たしていない医学部の出身者は23年以降、アメリカに留学し医療を学ぶことができなくなる。実際、日本の多くの大学医学部がこの国際基準をクリアできていなかった。これは取りも直さず、「ガラパゴス化」してきた日本の医学部教育に対して“開国”を迫っているといえる。

**医学部教育改革は日本の医療の未来を左右する**

本書は日本の医学部教育に焦点を当てながら、あるべき医学部教育改革はもとより、医師と患者の関係性やかかりつけ医のあり方、厳しい財源で多くの高齢者を支えるための医療体制、グローバル時代を迎えた日本の医療の行方などにまで踏み込んだ、いわば日本の医療の未来を示す羅針盤といえよう。

先行き不透明な時代を迎えたこともあり、近年、安定して高収入を得られる医師を目指して、医学部を受験する若者は増えている。こうした日本の医療の未来を担う若者や両親、現場で教育にあたる医学部関係者、病院関係者をはじめ、ヘルスケア分野に関連した仕事に従事するすべての人たちに読んでいただきたい。

事務局 掲 示 板

～ 日本医療経営実践協会からのお知らせ～

第4回医療経営士1級  
第一次試験の合格者を発表

9月4日(日)に実施した第4回「医療経営士1級」資格認定試験第一次試験の合格者が10月28日(金)に発表され、26名の受験者のうち、12名が12月4日(日)の第二次試験に進むことになりました。合格率は46.2%。

第二次試験では、プレゼンテーション形式の「口頭試問」と、「医療経営士1級」として相応しい能力および人格を有しているかどうかを主な合否の基準とする「個人面接」が行われます。

2017年「新春講演会」&「新春の集い」  
開催日&講演者が決定!

2017年「新春講演会」&「新春の集い」の2月4日(土)開催が決定しました。「新春講演会」では、医師、僧侶、元プロボクサーという異色の経歴で注目を集める川島実先生を講師に迎え、「『拳闘』と『仏法』から得たこと、学んだこと—私の人生観、経営観」をテーマにご講演いただきます。

また、「新春の集い」(懇親会)は、さまざまな職場で活躍されている医療経営士の皆様の相互交流や意見交換などを通し、支部活動とは違った自己研鑽の場となることが期待されます。たくさんの会員の方のご参加をお待ちしています。

詳細は協会ホームページをご確認ください。

※本紙『MMS NEWS』の紙面をリニューアルしました。今後も医療経営士の皆様の活動に役立つ情報をお伝えしていきます。

支部活動に参加してレベルアップを図ろう!

PICK UP 研究会

11/25 北海道支部

医療経営士として自分の働く業界を知っておこう!  
社会保障ゼミ 第1回(全4回)

北海道支部は、社会保障のしくみと医療・介護分野の将来像をゼミ形式で学ぶ勉強会「社会保障ゼミ」を全4回で開催する。講師は社会福祉法人溪仁会法人本部事業推進部次長の神内秀之氏が務める。

第1回では、社会保障全般に関するオリエンテーション、社会保障にまつわる噂など、基礎知識の習得を目指す。自分が働いている業界がこれからどうなっていくのかを学びたい方にオススメの勉強会だ。

- 日時  
11月25日(金)/12月16日(金)/1月20日(金)/2月17日(金) 各回18:30~20:00
- 会場  
日本医療企画北海道支社セミナールーム(北海道札幌市)
- 参加費  
会員1,000円/一般1,500円 ※各回
- 問い合わせ先  
北海道支部(担当:緑川)  
TEL:011-223-5125

1/21 関東支部

第4回埼玉研究会

現場リーダーのためのホスピタリティ目標管理術

関東支部は、第4回埼玉研究会「現場リーダーのためのホスピタリティ目標管理術」を開催する。講師は医療法人財団献心会川越胃腸病院総務部長・医療サービス対応事務局長の小川卓氏が務める。

目の前の仕事に追われ周囲の期待どおりに充実した職場づくりができていない現場リーダーに向けて、ホスピタリティを高めるためのシンプルで効果的なスケジュール管理術を紹介する。

- 日時  
1月21日(土)15:00~17:00
- 会場  
ウエスタ川越交流支援施設1階会議室3(埼玉県川越市)
- 参加費  
会員3,000円/一般5,000円
- 問い合わせ先  
関東支部(担当:望月)  
TEL:03-3256-2885

日本医療経営実践協会 支部研究会スケジュール

開催日	開催支部	テーマ	講師
11月25日(金)	北海道	社会保障ゼミ 第1回	神内秀之氏(社会福祉法人溪仁会法人本部事業推進部次長)
11月26日(土)	東海	第1回医療機関事務職員交流研修会 医療事務のコア業務、レセプト請求について	守田菜々氏(沼津情報ビジネス専門学校医療事務科2年)/山田紀子氏(葉袋内科クリニック訪問看護ステーションエム事務)/眞田裕子氏(岡村記念病院医事課入院)
	関西	看護部門の離職率を下げる人材育成マネジメント ~魅力ある職場づくりを目指して~	中谷茂子氏(医療法人マックシール異病院副院長)/江川民子氏(医療法人マックシール異病院看護部長)
12月16日(金)	北海道	社会保障ゼミ 第2回	神内秀之氏(社会福祉法人溪仁会法人本部事業推進部次長)
12月17日(土)	東海	第2回岡村医療経営塾 医療にかかわる課題を議論する自主勉強会	芹澤寿一氏(岡村記念病院医事課外来)/下山智則氏(岡村記念病院企画運営部主任)/木部祐洋氏(岡村記念病院総務課課長代理)/川端真一氏(岡村記念病院医事課課長)/田中賢司氏(岡村記念病院事務部長)
	九州	療養病院のブランド化戦略	菅原知之氏(医療法人CLSすがはら菅原病院専務理事)
1月20日(金)	北海道	社会保障ゼミ 第3回	神内秀之氏(社会福祉法人溪仁会法人本部事業推進部次長)
1月21日(土)	関東	第4回埼玉研究会 現場リーダーのためのホスピタリティ目標管理術	小川卓氏(医療法人財団献心会川越胃腸病院総務部長・医療サービス対応事務局長)
	東海	第5回静岡県東部医療経営研究会 医療と介護の連携について(ダブル改定に備えて)	下山智則氏(岡村記念病院企画運営部主任)/小林恵美子氏(静岡市立静岡病院医事課)/松川達也氏(伊豆箱根鉄道株式会社エミーズ東門門施設長)/大谷貴美子氏(有料老人ホーム青空施設長)/田中賢司氏(岡村記念病院事務部長)
2月17日(金)	北海道	社会保障ゼミ 第4回	神内秀之氏(社会福祉法人溪仁会法人本部事業推進部次長)

※日程等は変更になる場合があります。詳細は協会ホームページをご確認ください

一般社団法人  
日本医療経営実践協会

2017年  
「新春講演会」&  
「新春の集い」

「拳闘」と「仏法」から  
得たこと、学んだこと

私の人生観、経営観

●開催日

2017年2月4日(土)

新春講演会: 15:00~16:00(開場14:30)

新春の集い(懇親会): 16:20~18:30

●参加料

新春講演会: 会員1,000円、一般3,000円

新春の集い(懇親会): 会員限定3,000円

※会員: 医療経営士、介護福祉経営士(申請中の方も可)

●会場

富士ソフト アキバプラザ

(東京都千代田区神田練堀町3)

●講師: 川島実先生

医師・僧侶・  
元プロボクサー



京都大学医学部医学科卒業。在学中にプロボクサーデビューし西日本新人王(ウェルター級)に輝く。29歳でボクシング引退後、自給自足生活を求めて和歌山県の農村へ移住。和歌山→京都→沖繩→山形の病院で医療経験を積む。震災直後より山形から宮城県気仙沼市立本吉病院へボランティアとして通う。2011年10月同病院の院長に就任。2014年3月、同病院を退職し、現在はフリー。華厳宗大本山東大寺で得度し、僧侶でもある。

日本医療経営士 新春講演会2017

検索